

ハンナのかばん



2000年、アウシュビッツから東京に届いた少女のかばん
Hanna Brady 625 WaisenKind (孤児)

ハンナって誰？どんな子だったの？

ひとつのかばんから今世界中に広がる命のメッセージ



スタッフ

原作 / カレン・レビン
翻訳 / 石岡史子(ポプラ社刊)
脚本 / 宮越洋子
演出 / 菊池 准
美術 / 増田寿子
照明 / 福井邦夫
衣裳 / 吉井千和
音楽 / 上田 亨
効果 / 須川由樹
協力 / NPO法人ホロコースト
教育資料センター
制作 / 岡崎久美子

登場人物

春奈/ハンナ カレル
純太/ジョージ マルケータ
悦子 ボシュカ
舞 ロット
幸太郎 ルドビック

エラ
マルタ
エド
デール
フリードル

ナチス仕官

おじさんのジョージ
ドット



「ハンナのかばん」が東京のホロコースト教育資料センターに届いてから12年が経ちます。このかばんを通して、一人の少女の「死」よりも「命」を伝えたい……そんな思いから私はハンナ探しを始めました。そして一つのかばんから数々の不思議な、かけがえのない出会いが生まれました。劇団コーロの皆さんとの出会いにも今、期待に胸を膨らませています。ハンナの物語がまた新しい形で伝えられ、私たち一人ひとりが命を尊ぶ心、思いやりの心を育てていくことができますように。

NPO法人ホロコースト教育資料センター代表
石岡史子

一般社団法人 劇団コーロ



演劇を通して生きる力を！

私たちは、「現代を的確に捉え、人々が未来を語る糧となるべき演劇を創造するとともに、演劇の普及・向上に努めることにより、我が国の演劇の発展に寄与すること」を目的とした一般社団法人劇団コーロを設立いたしました。